



よりよい家庭学習の習慣を身につけるためのチェック表

(はい○ もう少し△ いいえ×) →○のつかないところに注意して改善しましょう。

	チェック項目	チェック欄			
		/	/	/	/
子どもがチェック	① 宿題がなくても毎日学習している。				
	② テレビや音楽などを消して学習している。				
	③ 親などに言われる前に、自分から進んで勉強を始めている。				
	④ 机の上など、学習する場を整理してから学習を始めている。				
	⑤ ていねいな字を書くようにしている。				
	⑥ 分からないことをそのままにせず、聞いたり調べたりしている。				
	⑦ 集中して学習している。				
	⑧ 見直しや答え合わせ、間違い直しなど、学習のふり返りを行っている。				
	⑨ 学習が終わったら、しっかり片付けをしている。				
	⑩ 休みの日以外は、学習する時間をおよそ決めている。				
	⑪ 1年生は1日平均80分以上、2年生は100分以上、3年生は120分以上学習している。				
	⑫ 自分に必要な学習内容を考え、計画的に学習している。				
	⑬ 時間にゆとりがあるときは、読書をしている。				
	⑭ 6時間以上の睡眠をとっている。				
	⑮ 毎日、朝食を食べている。				
保護者がチェック	① 子どもが学習しやすい環境を整えようとしている。				
	② 子どもがいつまでも、テレビ、ゲーム、インターネット、スマートフォンなどしていないか意識したり注意したりしている。				
	③ 子どもの学習の様子を定期的に見たり、話題にしたりしている。				
	④ 「頑張っているね」「大丈夫だよ」など、子どもをできるだけ褒めたり認めたりする声かけをできるようにしている。				
	⑤ 学校のこと、将来の夢、就きたい職業などについて話題にしている。				

【自分が決めたチェック項目】	/	/	/	/
★				
★				

※ まずは今現在の状況からチェックをして、その後、時々チェックしてみましょう。
 ※ 継続してふり返りをすることで、自分の変わっていく姿を実感できます。



YAMANAKAKO J.H.S.

家庭学習のススメ

家庭学習を支える4つのポイント

- ★ 勉強しやすい環境をつくる!
- ★ 勉強している様子を見守る!
- ★ 学校での様子に関心をもつ!
- ★ 将来の夢や職業についての話をする!



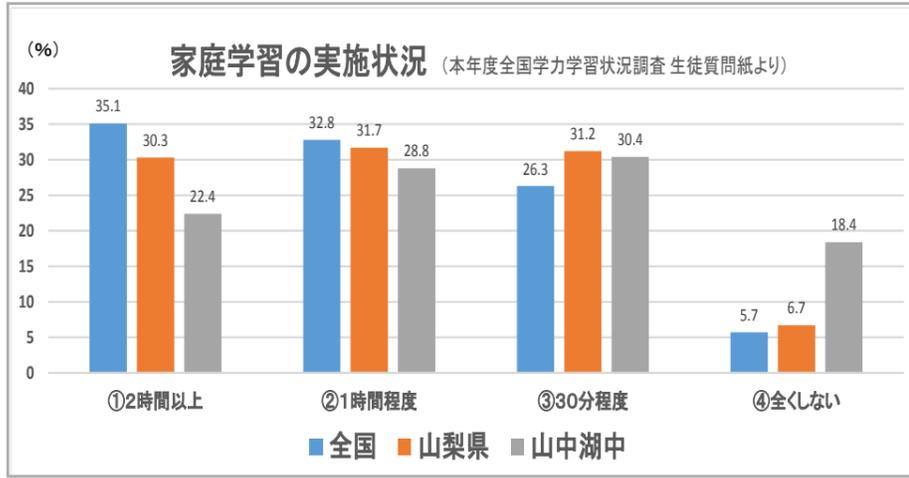
山中湖村立 山中湖中学校

平成26年10月発行

さあ、家庭学習を始めましょう！



毎日、時間を決めて家で学習する習慣がついていますか？



生徒のみなさんへ

1年生は1日平均80分以上、2年生は100分以上、3年生は120分以上を目安に家庭学習を続けてみましょう。

1・2年生へ

- ①「毎日、何をどれだけ学習する」「毎日、教科書（問題集）を何ページやる」など、目標を具体化しましょう。
- ②学校の時間割に合わせ、予習や復習の計画を立てましょう。
- ③決まった場所で、決まった時間帯に、決まった教科を勉強する日課にしましょう。
- ④発想や考え方を書き残したり、知識を増やしたりするノートを作って学習しましょう。

3年生へ

- ①得意な教科は、自分のペースで問題集を進めましょう。
- ②苦手な教科は、分かるところまでさかのぼってやり直しましょう。
- ③時には、先生、友達、インターネットなどから、自分に合った学習方法の情報を得ましょう。
- ④発想や考え方を書き残したり、知識を増やしたりするノートを作って学習しましょう。

各教科…こんな学習をしてみましょう。

英語

(1) 単語の意味を辞書で調べる (予習『書く』)

教科書の本文を読んで、意味がわからない単語は、辞書を使って自分で調べてみましょう。単語の意味が複数ある場合は、教科書本文にどれが一番当てはまるか考えます。



(2) 声に出して読む (復習『聞く・読む・話す』)

授業中の先生の発音にしっかりと耳を傾け、正確に発音するように心がけます。復習では、教科書をすらすら読めるまで何回も声に出して読んでみましょう。

(3) 授業のふり返しをする (復習『書く』)

- ①学習した教科書基本本文の文法や表現のコツについて、大切なことを自分の言葉でまとめてみましょう。(例：～することができる→canを使う)
- ②授業中に自分や友達が使った表現を思い出してノートに書いてみましょう。教科書のWord-Cornerの単語を使って、自分で考えたオリジナルな表現にも挑戦してみましょう。(例：I can play the piano, so I want to play it with my friends…)

国語

(1) 文章を読む習慣をつける

新聞や本など、文章に触れる習慣をつけましょう。わからない言葉は、その都度辞書で調べるとさらに効果的です。普段から文章を読むことが習慣になれば、自然と読解力が身につきます。毎朝取り組んでいる朝読書と同じように、家に帰ってから、ほんの少しの時間でも本を読むことを継続していけば大きな力になります。

(2) 漢字を書いて覚える

漢字専用のノートを作り、毎日繰り返し練習してみましょう。最初は、どの漢字も同じように一行ずつの練習でよいでしょう。しばらくしたら家の人に協力してもらい、どのくらい覚えたか簡単なテストをしてみましょう。その結果をもとに、今度は練習の回数を変え、苦手な漢字もしっかりと覚えられるようにしましょう。

社会

(1) 予習と復習のサイクルを回そう

- ①事前に教科書を読んで、学習内容を確認します。予習をすることで授業の見通しがもて、理解しやすくなります。興味や疑問がわいてくれば、もうしめたものです。
- ②復習はその日のうちに行います。授業で習ったところのワークや問題をノートに書いたり、地図帳や資料集で該当箇所を確認したりしてみましょう。復習をすることで理解が深まり、定着が図れます。

(2) 学習方法の例

教科書の索引で、「学ばべき言葉やことがら」の内容が、自分できちんと説明できるか確認してみましょう。



数学

(1) 間違えた問題を大切にしよう

できなかった問題は、解答・解説を読むだけではできるようになりません。時間をおいて必ず自分で解いて確認してみましょう。

(2) 一度できたからいつもできるへ

一度解けた問題が、ずっと解けるとは限りません。より確実に解けるように繰り返し練習してみましょう。

(3) 学習方法の例

- ①様々な種類の問題をたくさん練習したり、時間を決めてできるだけ多くの問題を解く練習でケアレスミスをなくすことができます。
- ②関数は、問題文や式だけでなく、表やグラフを利用しましょう。確率も樹形図や二次元表で、場合を尽くして数えると効果的です。
- ③図形の証明は、図に条件を書き込んだり、補助線を書き入れたりして考えるようにしましょう。証明すべき結論から考えてみることも効果的です。

理科

(1) 復習をしっかりしよう

授業が終わったら、しっかりと復習をすることが大切です。教科書やノートを見て、出てきた語句やその意味などを確認しましょう。

(2) 実験のまとめをしっかりしよう

理科では様々な実験があります。それぞれの内容は違いますが、次の点に注目してしっかりまとめておきましょう。

- ①目的・手順・方法・使用した器具や薬品を確認する。また、試薬を使用した場合、どのようなときに、どのような変化をするかを確認する。
- ②実験を行う上での注意点を確認する。
- ③実験の結果についてまとめる。出てきたデータを、グラフなど必要な形でまとめておく。また、そこから何がわかったのかを確認する。

(3) くり返し問題を解こう

くり返し問題を解くことで、覚えるポイントがはっきりします。短い時間でもよいので、毎日取り組みましょう。

読書

- たくさんの本を読んでいる子どもは、学力が高い傾向にあります。
- 本を読む楽しさを味わい、読書習慣を身につけましょう。
- 読書は、国語の学習にかかわらず、すべての教科の学習につながります。